

夜ノ森の家 (2006年)

福島県双葉郡富岡町にあるこの住宅は「箱の家にして耐震性と室内環境を考慮」してくれとの建築主の要望で設計がはじまりました。外装は屋根、外壁ともガルバリウム鋼板に決定、内部については貝殻漆喰壁と木の壁紙。



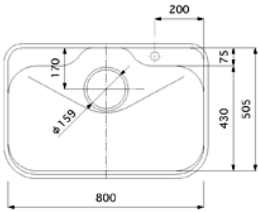
断熱は充填工法としてダンパック(セルローズファイバー)を使用、小屋断熱とここまでは簡単に決まりましたがやはり設計事務所に依頼をする建築主さん、こだわりがありました。

壁は絶対にどうしても「白」と頑張ります。こちらは「ウーン」となりますが貝殻漆喰壁は基本色が白なのでなんなくクリアです。今回は貝殻漆喰壁と木の壁紙を出隅部で突き付けをしてみましたが無事施工できました。

左の写真は流し台ですがこちらも「白」で造作してくれとのことで一緒に東京やら仙台やら出掛けたのも楽しく、懐かしい思い出です。結局は地元で造ったのですがこれは大事なことなのです。建築は地場産業といいますが将来壊れることが予想できるものは修理のことを考えておかなければなりません。



こだわりはまだまだ続きます。上の写真のコンクリートブロック、丸い穴が開いてうまいものがありました。



左はトイレにあるペーパーホルダー、一見金属製に見えますが木で造ってあります。シンクの図面がありますがこちらもステンレス製の白にこだわったものでした。

こだわりが迷惑だと言っているのではありません。私としては何でも良いので家をつくるからには何かこだわって欲しいと考えています。



塗装工事のオスモなどは自分たちで塗りました。建築主参加型の工事はとても楽しいものです。

計画段階では一人だったお子さんも今年の夏にはもうひとり家族が加わります。アウト、PLANに抜かりはありません。設計事務所ですから。

Data

所在地：福島県双葉郡富岡町桜二丁目地内

家族構成：夫婦+子供二人

構造規模：木造在来金物工法、二階建て

設計監理：吉田敏彦建築設計室